

第30回健康・医療戦略推進本部 議事概要

日 時：令和2年7月14日（火）15時30分～15時50分

場 所：首相官邸4階大会議室

出席者：健康・医療戦略推進本部長、副本部長及び本部員

- 副本部長である竹本健康・医療戦略担当大臣から、以下のとおり説明があった上で、「アジア医薬品・医療機器規制調和グランドデザイン」実行戦略について、案のとおり本部決定した。
 - ・ 本実行戦略は、昨年6月に、当本部でアジア健康構想を踏まえて決定した「アジア医薬品・医療機器規制調和グランドデザイン」について、その実行のための具体的な施策をとりまとめたものです。
 - ・ 背景として、医薬品等へのアクセスの向上は、国連における持続可能な開発目標のターゲットの一つとされており、とりわけ経済成長と高齢化が進むアジアについて、5年・10年先を見据えて、医薬品等へのアクセスの向上と、保健サービスの質の向上を達成するための基盤を整備することは、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成にも大いに貢献するものです。
 - ・ また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえれば、アジア諸国との間でも、緊急時にしっかりと各国が協調できる、新興感染症に対する医薬品等の開発体制を構築することが急務となっています。
 - ・ こうした状況を踏まえ、今般の実行戦略案では、従来から取り組んでいる国際的な規制調和を進めるとともに、アジア域内に、日本が中核となる臨床試験の拠点ネットワークを構築する。これにより、日本の医薬品や医療機器が、アジア諸国に迅速かつ円滑に受け入れられることを目指すこととしています。関係省庁が一体となり、我が国の産学官の力を結集して推進していくべき重要な取組と考えております。
- 次に、副本部長である竹本健康・医療戦略担当大臣から、以下のとおり説明があった上で、「令和3年度資源配分方針」について、案のとおり本部決定した。
 - ・ 毎年、当本部において翌年度の概算要求に向けた資源配分方針を決定しています。今年も、まず昨年度までの第1期健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画についてフォローアップを行い、その結果を踏まえつつ、来年度の資源配分方針について、昨年度に決定した第2期の健康・医療戦略等に即して作成しています。
 - ・ 具体的には、6つの統合プロジェクトごとに、iPS細胞等を用いた再生医療や、ゲノム解析等実行計画に即したゲノム医療などを進めるとともに、疾患領域についても、がん免疫療法や認知症の病態把握の取組を進めることなどを定めています。加え

て、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、機動的に調整費を配分し、速やかに研究開発等に着手することとしています。

○ さらに、副本部長である竹本健康・医療戦略担当大臣から、以下のとおり説明があった上で、「ムーンショット型研究開発制度が目指すべきムーンショット目標」及び、「日本医療研究開発機構の業務運営の基本方針」について、案のとおり本部決定した。

- ・ ムーンショット型研究開発制度は、超高齢化社会などの重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標を国が設定し、挑戦的な研究を推進する制度です。既に6つの目標が総合科学技術・イノベーション会議で決定されていますが、新たに健康・医療分野の目標を1つ決定したいと考えております。お示した目標案は、2040年を目指し、100歳まで健康不安なく人生を楽しむことができるよう、サステナブルな医療・介護システムを実現することを目標とするものです。この目標達成のため、予防医療アクセス、QOLの改善といった研究テーマを想定しています。目標決定後は、AMEDが公募・採択を行い、10年を上限として研究開発を進めていく予定です。
- ・ 「日本医療研究開発機構の業務運営の基本方針」は、AMEDにおいてこのムーンショット型研究開発等を実施することになったこと等を踏まえ、AMEDの業務運営に関する主務大臣間の役割分担を明確にする規定に、所要の改正を行うものでございます。

○ 続いて、三島AMED理事長から、第2期のAMEDの運営についての説明があった。

○ 最後に、本部長である安倍内閣総理大臣から以下のとおり挨拶があった。

- ・ 健康・医療戦略推進本部では、今年3月に、新型コロナへの対応を含む今後5年間の戦略を定め、「健康長寿社会」の実現に向け、取組を進めています。とりわけ新型コロナについては、有効な診断法・治療法等を一日でも早く確立し、国民の不安を払拭することが急務となっています。引き続き、日本のみならず世界中の英知を結集して、治療薬・ワクチンや迅速診断キットの開発に全力を挙げてください。三島理事長からも力強い発表をいただきましたが、今こそ、AMEDの役割を最大限発揮し、研究開発、実用化支援に全力を挙げていただきたいと思います。
- ・ さらに、ポスト・コロナも見据えれば、優れた医療を持つ我が国が、アジア地域全体の健康・医療水準の向上に、より積極的に貢献していくことが重要です。その第一歩として、アジアの研究開発体制の充実と規制の調和を、我が国が主導するための、実行戦略を、本日決定しました。
- ・ 竹本大臣をはじめとする関係閣僚、そして三島理事長におかれては、新たな戦略の実現に、引き続き一丸となって取り組んでいただくようお願いいたします。 以上